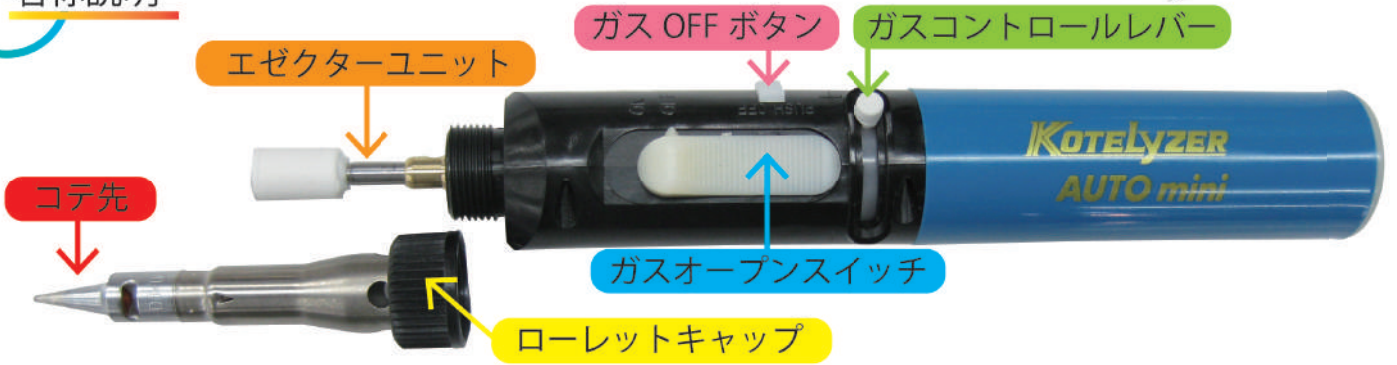


01 名称説明



02 ガス吐出量調整について

工場出荷時にはガスコントロールレバーが真ん中の時に、炎長が4～5mmになるように調整がされています。炎長が小さ過ぎても、大き過ぎても着火不良の原因となります。

吐出量調整が必要な時

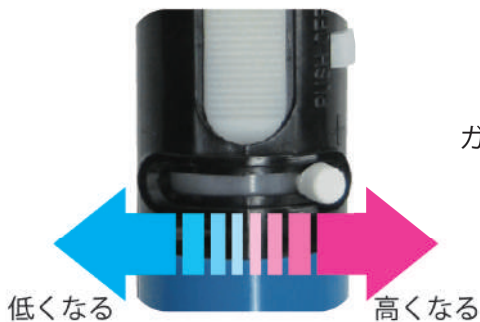
1 ガス吐出量が低い場合

- ・着火後、触媒反応が悪く、コテ先がなかなか温まらない
- ・コテ先を外し、ライターで着火しても炎が小さくすぐに消えてしまう
- ・ガスの吐出音が小さい、またはしない

2 ガス吐出量が高い場合

- ・着火してしばらく使用すると『ジュジュジュ』という音になり、触媒反応が消えてしまう
- ・コテ先を外し、ライターで着火しようとする、炎が弾かれて着火しない

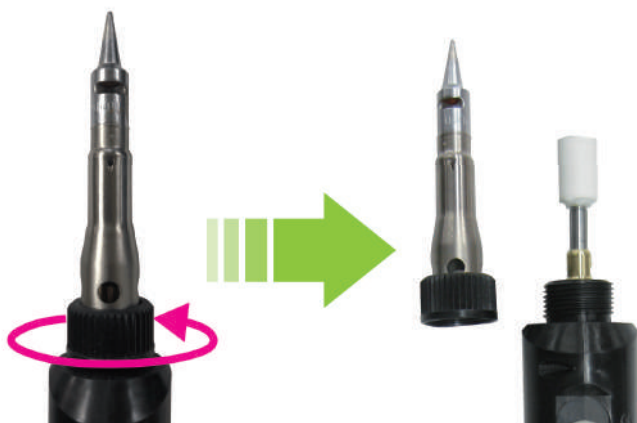
吐出量調整の基本



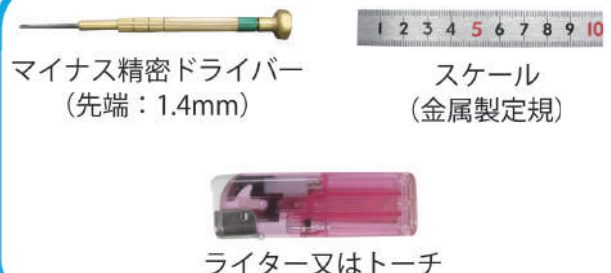
ガスコントロールレバーを右に移動させると炎長は**高**くなり
左に移動させると炎長は**低**くなる

事前準備

ローレットキャップを回して外し、エゼクターユニットが見える状態にします。



用意する物

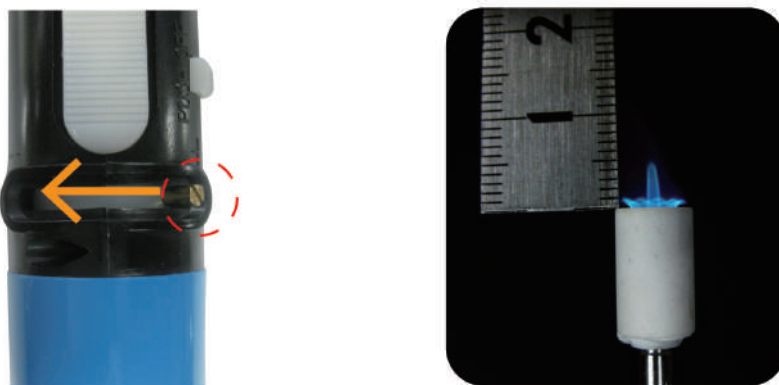


03 吐出量を下げる場合

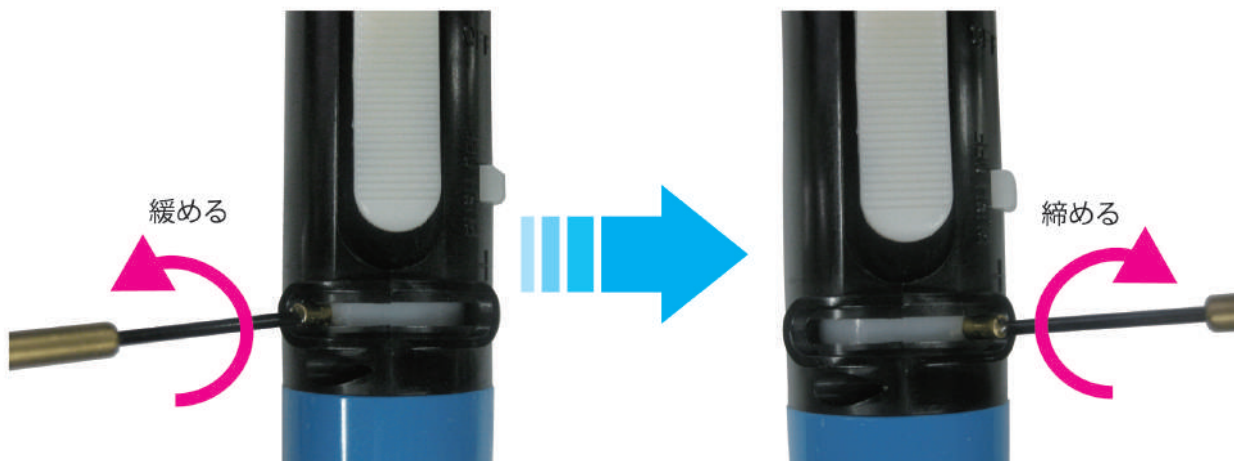
- 1 ガスコントロールレバーのつまみ（白いゴム製）を外すと調整のネジになっています、ガスオープンスイッチを上げてライターで着火し、ガスコントロールレバーを一番右の位置に移動させます。（炎がガスに弾かれて着火しない場合は一番左の位置に）



- 2 ガスコントロールレバーを徐々に左に移動させ、炎長が4～5mm になるところまで移動させます。（一番左でも炎長が5mm 以上ある場合は一番左の位置に）



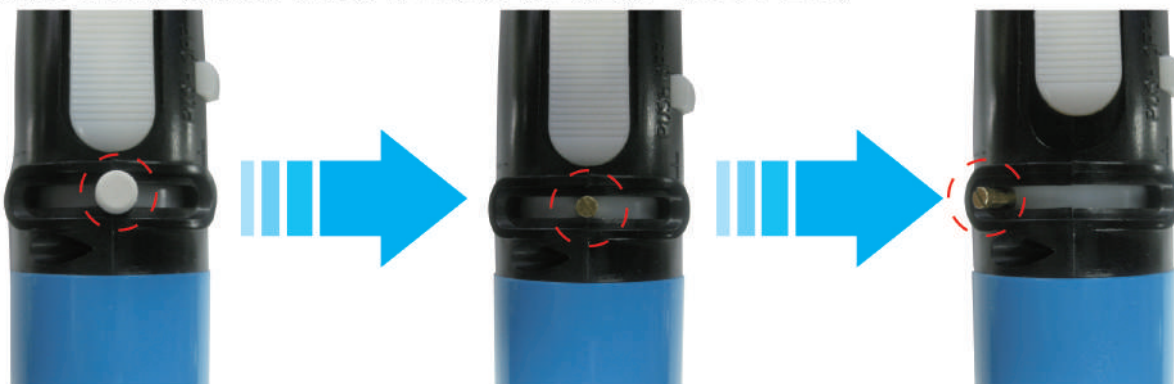
- 3 マイナスドライバーでガスコントロールレバーのビスを緩めます。緩めた状態で炎長が4mm～5mmに調整できた場合はガスコントロールレバーを真ん中の位置で締めます、調整出来てない場合はガスコントロールレバーを一番右の位置に移動させて締めます。



- 2 と 3 を繰り返し、最終的にガスコントロールレバーが真ん中の位置で炎長が4～5mm になるように調整します。

04 吐出量を上げる場合

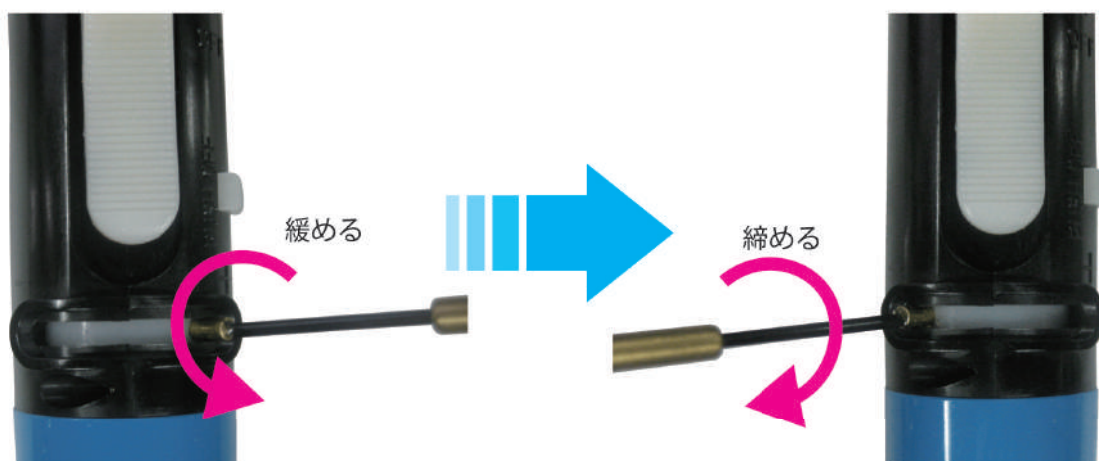
- 1 ガスコントロールレバーのつまみ（白いゴム製）を外すと調整のネジになっています、ガスオープンスイッチを上げてライターで着火し、ガスコントロールレバーを一番左の位置に移動させます。（炎がガスに弾かれて着火しない場合は一番右の位置に）



- 2 ガスコントロールレバーを徐々に右に移動させ、炎長が4～5mm 上がるころまで移動させます。（一番右でも炎長が4mm 以下の場合は一番右の位置に）



- 3 マイナスドライバーでガスコントロールレバーのビスを緩めます。緩めた状態で炎長が4mm～5mmに調整できた場合はガスコントロールレバーを真ん中の位置で締めます、調整出来てない場合はガスコントロールレバーを一番右の位置に移動させて締めます。



- 2 と 3 を繰り返し、最終的にガスコントロールレバーが真ん中の位置で炎長が4～5mm になるように調整します。